

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立香楠中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標を達成すべく、本年度の重点目標を定め、各評価項目について取り組んできたが、年間計画に沿って組織的に取り組み、すべての項目で概ね達成できた。 来年度以降、今年度の成果と課題をもとに、各分掌、学年、学校全体でこれまでの具体的取組を検証・協議するとともに定期的な振り返りを実施しながら、評価項目の成果指標で設定した数値目標が確実に達成されるよう努めたい。
------------------	---

2 学校教育目標	<p>校訓である「知を愛し、和を敬い、心を培え」を踏まえ、高い知性と豊かな人間性、たくましい心身を培い、高い使命感を持って社会の発展に貢献する人材を育成する。</p> <p>(1) 幅広い知識と深い教養を身に付けさせ、論理的思考力と豊かな表現力を育てる。</p> <p>(2) 敬愛・共働の精神を育み、高い倫理観と公正な判断力を育てる。</p> <p>(3) 強い意志と健やかな身体を鍛え、自己実現と社会発展に真摯に取り組む態度を育てる。</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 中高6年間を見通して、それぞれの学年で生徒の「志」を高め、身に付けるべき力を定着させていく指導を確立する。 「キャリアデザイン」を通じて自分自身の強みや適性を見出させ、人生観・職業観の基礎を形成し、進路意識を涵養する。 教職員、家庭、外部専門機関との密な連携を推進し、いじめの早期発見・早期解決に努める。また、特別な支援が必要な生徒の把握に努め、必要な支援と合理的配慮を提供する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・各学期に1回「授業アンケート」を実施し、指導方法の工夫を図る。 ・進捗計画や到達目標の設定等について、中高合同の会議を行う。							
	○全授業で、「めあて」と「まとめ」を意識した授業を行う。また、「話し合い活動」を積極的に実践し、思考力や表現力を高める生徒の育成	○「めあて」と「まとめ」を取り入れた授業を8割以上行った教師90%以上。 ○「話し合い活動」に肯定的な回答をする生徒の割合80%以上。(授業アンケート)	・会議や教科部会を通して、マイプランの共有をするとともに、実践に向けての検討等を行う。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳アンケートにおいて肯定的な回答をした生徒が70%以上	・年間計画に沿った授業実践を行う。 ・年2回道徳アンケートを実施する。 ・保護者、地域に授業公開を年に1回以上行う。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめの早期発見、早期対応」の項目で肯定的な回答が職員、保護者ともに80%以上	・各学期1回以上の生徒向けいじめアンケートを行う。 ・積極的に対策委員会を開き、組織的な対応で早期解決を図る。							
●健康・体づくり	●環境美化	○「生活環境を整え、美しく保とうとする」の項目で肯定的な回答した生徒が60%以上	・生徒と教師と一緒に清掃活動に取り組む。 ・毎日の清掃活動、教室の整理整頓等に努め、年1回以上の学校環境美化満足度アンケートを行う。							
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上	・保健委員による呼びかけを行い、食習慣に対する意識を高める。 ・年1回以上の生徒向けの食習慣アンケートを行う。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の順守 ・部活動と保護者対応の効率化 ・業務の標準化							
	○労働環境の改善	○「教職員間の情報共有が十分行われている」と回答した教職員 70% 以上 ○「職場の環境改善、感染症対策が十分なされた」と回答した教職員 70% 以上	・教職員間での課題の共有と解決への協働 ・保健相談部を中心とした生徒の問題の共有							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○読書指導	○読書活動の充実	○学校図書館の本の貸出数が前年比で増加している生徒70%以上	・読書感想文コンクール応募と文集刊行 ・校内ビブリオプレゼンテーションの実施 ・図書委員会による年間多読者の表彰 ・朝読書の実施							
◎キャリア教育	◎高校卒業後の自己実現向け、中学校3年間を通じた系統的な指導	○「学校での学習や行事を通して、将来の自分の進路(職業)について考えることができた」と考える生徒90%以上	・発達段階(学年)に応じた年間行事を実施し、大学で学ぶことと将来の職業への関心を高める。							
○生徒会活動の充実	○委員会活動の充実と生徒会活動に積極的に取り組む生徒の育成	○「生徒会の活動に積極的に参加することができた」と感じる生徒80%以上	・月1回の各種委員会における目標と活動内容の設定 ・委員会報通じて、全校生徒への活動内容の提示							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---